



本年度よりコミュニティ・スクールを導入した有田工業高校では、『SAGA コラボレーション・スクール (SCS) 重点校』の指定校として「**地域を愛し 地域に愛される 学校づくり**」をめざして、様々な教育活動に取り組んでいます。

topic
01

コラボレーション1【デザイン科の特色を生かした地域題材型学習】 佐賀新聞社主催

「第21回高校生クリエイター新聞広告」 in モラージュ佐賀 2月4日(土)～26日(日) 展示

2月4日(土)にモラージュ佐賀で、佐賀新聞社主催の「第21回高校生クリエイターの新聞広告」入賞者の表彰式がありました。

この企画は、佐賀新聞本紙に掲載される新聞広告をクライアント(依頼主)のオリエンテーションを経て、高校生が制作し、クライアント様自ら審査され、採用作品と優秀作品が選ばれます。今回は、佐賀トヨペット様に本校生徒の作品が最優秀賞となって本紙掲載を果たしたのをはじめ、エッジ国際美容専門学校様で特選、佐賀トヨペット様と佐賀県精神科病院協会様でそれぞれ入選となりました。佐賀トヨペット様からは、最優秀賞の作品に対して、「広告の意図を見事に表現された素晴らしい作品」とお褒めの言葉をいただきました。制作されたすべての作品については2月26日(日)まで展示されました。

topic
02

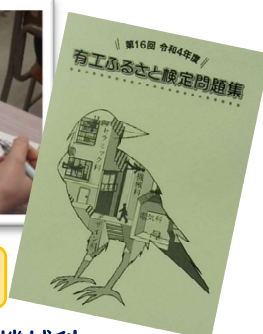
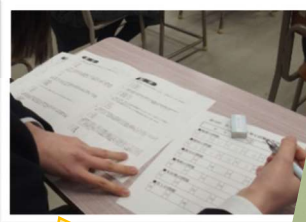
コラボレーション2【地域題材型学習】

「有工ふるさと検定」

3年生 令和5年2月13日(月)

2月13日(月)に、3年生を対象に「有工ふるさと検定」を実施しました。この取組は平成19年度から行われています。

表紙や挿絵のイラストは有工の特色を生かし、デザイン科や漫画研究部の生徒が担当しています。今回は、学校運営協議会の委員様にも、問題を募集しました。3年生は卒業後、進学や就職など県内外でそれぞれの道に進みますが、母校や有田町、佐賀県の良さを見つめる機会になったことと思います。



有田焼の歴史は…

topic
03

コラボレーション3【地域学習・地域人材活用】

日産自動車株式会社×機械科

「卒業生による技能五輪の実演」

機械科1年生・2年生

令和5年2月10日(金)

2月10日(金)に、機械科1・2年生を対象に、本校の武道場にて、日産自動車株式会社の池上天(たかし)さんによる技能五輪の実演が行われました。池上さんは2021年3月に本校を卒業し、日産自動車株式会社(神奈川県横浜市)テクニカルエキスパート職として採用されました。令和4年11月、幕張メッセで行われた第60回技能五輪全国大会の自動車工職種に出場し、銅賞を獲得されています。

実演では、エンジンのシリンダヘッドからカムシャフトを取り外し、摩耗や反りを点検し、再度組み付ける作業を短時間(約10分)で終了しました。その後、生徒に体験してもらうために代表の生徒数名に10本程度のねじを短時間で緩めた後、締め付ける作業を体験してもらいました。今回、約1時間程度の実演でしたが、実際に技能五輪のスキルの高さを目の当たりにして、生徒達にとって、とても貴重な経験となったと思います。



本校卒業生の池上さんによる技能五輪の実演



体験する生徒たち

topic
04

コラボレーション4 【地域人材活用】 有田まちづくり公社×デザイン科
講演会「社会人として生き抜く力とは」 デザイン科3年生 令和5年2月10日(金)

2月10日(金)に、デザイン科3年生を対象に、有田まちづくり公社会長の高田亨二様を講師にお招きし、「社会人として生き抜く力とは」というテーマで講演していただきました。春からは進学・就職、県内外でそれぞれの道に進んでいく生徒達に向けて、“人生そのものもデザインである”と、ご自身の経験談を交えながらエールを送っていただきました。

普段は有田町の発展にご尽力されている傍ら、子ども達には空手や安全に楽しめる弓矢づくりを教えられているとのこと、講演の途中では空手を披露され、様々な分野の垣根を越えて伝えてくださる言葉や姿に、生徒たちは圧倒されながらも真剣に耳を傾けていました。

高校3年間で学んだデザインの考え方が、生き方や物事への向き合い方そのものであることを、改めて感じた時間になったことと思います。



有田まちづくり公社の高田様

topic
05

コラボレーション5 第5回学校運営協議会 令和5年2月14日(火)

コミュニティ・スクールとなった本校では、第5回学校運営協議会(学校魅力強化委員会)を開催しました。前半は、令和4年度の「学校評価・最終結果」(全日制・定時制)について、本年度の取組について報告をし、学校運営協議会の委員の皆様から「学校関係者評価」として様々なご意見をいただきました。

後半は、本校が生徒の全国募集に参画している「地域みらい留学」に関して、前回の学校運営協議会で出た意見をふまえて継続協議を行いました。今回は、佐賀県教育振興課の担当者の方々にも協議に参加していただきました。県外の中学校を卒業後、有田町で一人暮らしをしながら有田工業高校で学ぶ生徒たちの支援について、県と町と学校が連携して取り組んでいけるよう、体制を整えていきたいと思っております。

町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



本校の学校運営協議会委員の佐々木元康様が代表理事を務めるNPO法人灯す屋様の取組を紹介します。

今回、有田工業高校・有田中学校・西有田中学校を卒業する3年生に向けて、それぞれの学校を卒業した先輩方が担当した「お祝いのメッセージ付きポストカード」を送っていただきました。本校を担当して下さった方は、本校デザイン科卒業で学校運営協議会委員のデザイナーの岩橋愛久美様です。思い出の1枚として、3年間利用した有田駅の写真を添え、「これから先、もしも道に迷ったら、ぜひ「好き」を方位磁針に進んでみてください」というメッセージをいただきました。母校を巣立って社会に出る卒業生(全日制・定時制)の生徒に向けて心温まる応援メッセージをいただき、有り難うございました。



岩橋さんの思い出の1枚とメッセージより

あなたの「好き」はなんですか？16年前、私は有田工業高等学校のデザイン科を卒業し、絵本作家になる！という夢を持って東京に行きました。今は絵本作家ではなく、デザイナーとしての道を歩んでいますが、最近、また、絵を描く道も歩きはじめました。やっぱり「好き」と気づいたから。…(中略)…

おらせ

定時制「聴講生制度」

有工は大人も学べる学校です！

定時制では、聴講生課程があります。高等学校での聴講生制度は全国的にも珍しく、「焼き物のまち・有田」という地域性を色濃く反映した内容で、窯業コース・デザインコースがあります。

窯業・デザイン関連の職業で活躍する人材の養成を目的とし、原則2年間で修了する課程です。先日、第45期生が修了式を終え、新年度に入学する第47期生が決定しました。

